

「山の日」ってなんだろう

1 どうして「山の日」ができたの？

日本の国土の7割が山です。山は人びとに豊かな恵みをもたらす、ときには災いをもたらします。有史以前のむかしから日本に住む人びとは山をあがめ、おそれ、感謝し、山とともに生きてきました。山は生きとし生けるものをぐくむだけでなく、日本独自の文化を生み、豊かな心をも育ててきました。

しかし経済発展のなかで山は取り残され、次第に人びとは山への関心を失っていききました。山は荒廃し、文化は忘れ去られようとしています。

「山の日」は、美しく豊かな自然を守り、育て、次世代に引き継いでいくことを目的として生まれました。

「山に親しむ機会を得て、山の恵に感謝する」というのが、「山の日」の法律の主旨です。



武蔵御城神社では拍犬の代わりに狼が置かれる

2 「山の日」はだれが決めたの？

「山の日」は16番目の日本の国民の祝日です。2014年（平成26年）3月28日、超党派の議員連盟（自由民主党や民進党など9党）によって、国民の祝日に関する法律の改正案が衆議院に提出され、賛成多数で可決。同年5月23日に参議院本会議で賛成多数で可決、成立しました。

2010年（平成22年）に山岳5団体*が結束し、中心となって「山の日」制定の運動をしてきた結果です。

しかし、それ以前にも全国には多くの「山の日」がありました。山梨県の〈やまなし山の日〉（8月8日）、広島県の〈ひろしま「山の日」〉（6月第1日曜）、静岡県の〈富士山の日〉（2月23日）などで、それぞれ山に感謝する日です。全国で「山の日」のイベントがおこなわれ、「山の日」の輪が広がっています。

*山岳5団体＝日本山岳会、日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳ガイド協会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト

3 なぜ8月11日になったの？

山岳5団体が当初考えていたのは、6月の第1月曜日でした。6月には祝日がなく、そのころに山開きをする山も多かったからです。1週間を「山の日週間」にしようという案もありました。

しかし、日本には祝日ですでに15日あり、これ以上増やすと企業活動や学校教育に支障を来すという反対意見もあり、すでにお盆として休みが定着し、連続して休みが取れやすい日を選ばれました。当初は8月12日を考えていましたが、御巣鷹山航空機事故の慰霊の日に重なることから、8月11日になりました。



豊後山のシカ

4 「山の恩恵」ってなに？

日本列島に住む人びとは、縄文時代以前から森に依存して生きてきました。木の実などの食料だけではなく、住居や道具、燃料にする木や落葉も森から得ていました。森の動物だけでなく海の魚介も山の恩恵です。稲作が広まった後も森は利用されつづけてきました。

寺社や都を作るために木が必要になり、また、鉄や塩を作るために、燃料となる薪が大量に必要となり、人口が増えるにわたって、多くの山の木が失われました。はげ山となり、山崩れなども増えました。植林がおこなわれたのは江戸時代になってからでした。

里山が形成され、自然との共生が実現しました。山からは水や肥料、燃料、食料、鉱物資源などを得ていました。

日本列島に緑が回復するのは、最近になってからです。燃料に石油を使い、木材が輸入されるようになったためです。逆に林業が衰退し、荒廃した森が広がってしまいました。動物による被害や土砂崩れなどの災害も増えています。

5 「山の日」にはなにをしたらいいの？

「山の日」には、山について考えてみましょう。

わたしたちが何気なく眺め、何気なく暮らしている日本の山、そしてその自然は、世界から見るととても珍しく特異な存在です。山が多い島国というだけでなく、日本列島は南北に長く、雨や雪が多く、季節風が吹き、海流に挟まれ、多数の火山があります。山には多様な動植物が生息し、美しい景観を作っています。新緑や紅葉、高



岩手山の馬返し登山口

山植物、滝、渓谷、湿原、おいしい水、温泉……。また、登山や観光、健康増進、レクリエーションの場でもあります。

このすばらしい日本の山を、わたしたちは次世代に引き継いで行かなければなりません。しかし山を取り巻く環境は変化し、多くの問題を抱えています。人びとの山への意識が減り、関心が薄れていきます。「山の日」には、山に行き、山に親しみ、山について考えてみましょう。